

農業委員会報

平成30年8月1日発行

農業委員会報 第78号

編集 農業委員会報編集委員会

発行 武藏村山市農業委員会

武藏村山市本町一丁目1-1

電話 (042) 565-1111

内線 226

第五十九回東京都農業委員・農業者大会開催

栄えある受賞者

○農業後継者顕彰

東京都知事賞
東京都農業会議会長賞

- 企業的農業経営顕彰
東京都農業会議会長賞
東京都産業労働局長賞
販路の転換で安定化を目指す
経営



下田智道 氏

平成30年2月22日、瑞穂町スカイホールにおいて第59回東京都農業委員・農業者大会が開催されました。大会では、東京農業の確立に対する要望、都市農業の振興と都市農地保全に関する要望、農業委員会活動の積極的推進に関する決議について協議いたしました。

また、同時に授賞式典が行われ本市では本木靖典氏、下田智道氏、木下和年氏が受賞されました。

おめでとうございます。

これからも益々のご活躍をご期待いたします。



木下和年 氏

○農業功労者表彰

地域農業の発展に貢献



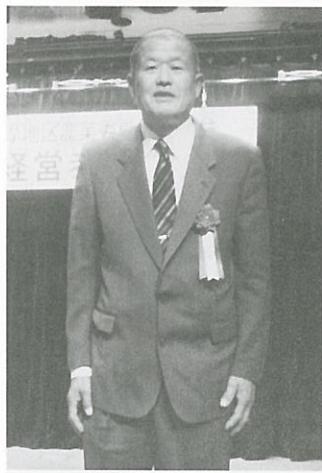
北多摩地区農業委員会連合会 優秀農業経営者表彰

平成30年2月2日、立川市女性総合センターAimホールで、北多摩地区農業委員会連合会による優秀農業

経営者表彰が行われ、本市から内野隆次氏が果樹部門で受賞されました。

おめでとうございます。

これからも益々のご活躍をご期待いたします。



内野 隆次 氏

農地の利用状況調査 (農地パトロール)の実施



農業委員会では、農地管理推進月間の一環として毎年8月に農地パトロールを実施しております。農地は食糧生産の場であり、また環境保全においても非常に重要な役割を担う大切な資産であります。

次世代に優良な農地を残すため、農地パトロールを行い遊休農地及び違反転用の解消に取り組んでおります。

今年度の調査は、8月20日(月)から8月27日(月)までの間に実施する予定です。

農業者座談会

農業委員会では、最近の都市農

政に関する農地制度の改正を踏まえて、農業者の皆様の日頃の考え方や意見等を出し合い今後の農業振興に役立てるため昨年に引き続き6月に市内3か所で農業者座談会を開催いたしました。

当日は、東京都農業会議事務局長の北沢俊春氏を招き、最近の都

市農政に関する動向(改正生産緑地法関係及び都市農地の貸借の円

次世代に優良な農地を残すため、農地パトロールを行い遊休農地及び違反転用の解消に取り組んでおります。

農業者座談会では、農業者の方々と有意義な意見交換をすることができました。

農業委員会では、座談会での意見・要望をもとに今後関係機関に對して要望を行つていくとともに、今後も引き続きこのような機会を設けていきたいと思います。

農業者の要望等は次のとおりでした。

- ・道路の街灯により野菜の生育に問題が発生する、今後街灯を設置するときは農家の意見を聞いてください

回答(予定)

平成31年度 農家の意向調査・説明会
平成32・33年度 申請受付

野焼きは原則禁止です。

法令等で認可された設備を使わない焼却は原則禁止されています。例外的に植木・農作物の病害虫防除等を目的とした理由があれば実施することが出来ますが、周辺からの苦情がありますと指導の対象となりますのでやむを得ず焼却を行う場合は、天候や風向きを考慮するなど、周辺に十分配慮してください。

農地の利用貸借について

市街化調整区域内農地についての適用を受けている農地も税の猶予が継続されます。また、今後相続が発生しても貸し付けている農地は相続税納税猶予の対象となります。

詳しくは、農業委員会事務局までお問い合わせください。

電話 565-1111

雨水がグランド等から畠に入つてから設置してほしい。

- ・多摩開墾の道路整備
- ・特定生産緑地について

今後のスケジュールについて申請書の受付を数回行つてほしい

内線226

農業者年金に加入を

農業者年金は、加入者・受給者数に左右されにくい積み立て方式（確定拠出型）の公的年金として平成14年1月よりスタートしました。

国民年金の第1号被保険者である農業者がより豊かに老後生活を過ごすことが出来るよう国民年金（基礎年金）に上乗せした年金制度です。

支払う保険料は全額社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税出来ます。

農業者年金についての問い合わせは農業委員会事務局まで

電話 565-1111

(内線) 226

・講習期間 平成30年5月から
(毎月1回)
・受講料 無料
・場所 中部地区会館
(市役所4階)

(注) パソコンの準備はありませ

んので、個人のパソコンをご準備ください。

多摩開墾内の道路は、農家の皆さんのが通行する大切な道路です。道路内では優しい運転に心がけるようご協力を願っています。

多摩開墾農道の通行のお願い

農業簿記講習会のご案内

農業委員会では、毎年東京都農業会議に講師をお願いして簿記講習会を行っています。

講習会は5月から毎月1回、来年の2月まで行います。

講習内容は、パソコンを使った記帳の仕方など、受講者の希望に沿った内容となっています。受付は随時行っています。

参加を希望される方は農業委員会事務局にご連絡ください。

認定を受けるには、今後5年間に取り組む経営改善の内容を記載した「農業経営改善計画認定申請書」を提出していただきます。申請に当たっては、市担当職員、農業委員、農業振興事務所職員等が相談、指導に応じます。

認定農業者になると、農業者は自らの経営内容を分析し計画を検討することにより、経営能力の向上が期待されます。

また、認定農業者は、低利融資や各区市町村独自の補助金、税制上の特例措置、情報提供などの支援措置が受けられます。

申請書の配布、受け付けは9月28日(金)まで産業振興課で行っています。

認定農業者制度のご案内

認定農業者制度とは、農業經營基盤強化推進法に基づき「今後とも農業で頑張つていこうとする意欲ある農業者の皆さん」を認定農業者として区市町村長が認定し、支援していく制度です。

認定を受けるには、今後5年間に取り組む経営改善の内容を記載した「農業経営改善計画認定申請書」を提出していただきます。

申請に当たっては、市担当職員、農園を開設する際の施設及び農機具等の購入につきましては一部補助金が支給されます。

なお、体験型市民農園は、相続税納税猶予制度の対象農地に開設することができます。

体験型市民農園

開設に御協力を

現在、市内には体験型市民農園が2園開設されています。

体験型市民農園は、市民の農業体験の場、また市民交流の場として利用されておりますが、まだ不足している状態です。

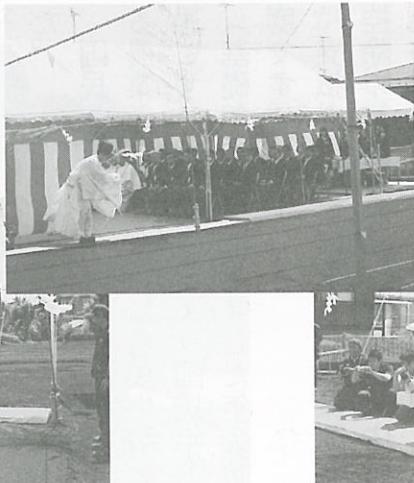
そこで、農園の開設にご協力いただける方を募集しています。

農園を開設する際の施設及び農機具等の購入につきましては一部補助金が支給されます。

なお、体験型市民農園は、相続税納税猶予制度の対象農地に開設することができます。



新嘗祭



平成三十年度宮中新嘗祭の獻穀
精栗御播種祭が6月9日（土）市
内農業者、乙幡清次氏が奉耕者と
して開催されました。

平成三十年度宮中新嘗祭の獻穀
精栗御播種祭が6月9日（土）市
内農業者、乙幡清次氏が奉耕者と
して開催されました。

市では、援農ボランティアを育
成するため、農業実習者の受け
入れ先となる協力農家を探してお
ります。

* 援農ボランティアとは、農業者
の高齢化や担い手不足等から生
じる未利用農地の発生を防ぎ将
来にわたり市民に新鮮で安全な
農産物の供給を図ることを目的的
に、市内の農業者から農作業の

農業新聞購読の お知らせ

全国農業新聞は農業委員会組織
が発行する農業総合専門誌です。
最近の都市農政に関する情報を
はじめ、家族が楽しめる記事が充
実しており、地域独自のイベント
や話題等が紙面を飾っております。

発行日 週1回（金曜日）
購読料 月 年額 8,400円
申し込み 農業委員会事務局



平成29年度 最優秀賞
『桜並木に寄り添う茶畠』

手伝い等の依頼があつた時に、
ボランティアとしてあらかじめ
登録していただいた方を紹介し、
一定期間作業実習していただく
制度です。

平成21年に行われた農地法の一
部改正により、相続等により新た
に農地の権利者となつた者は、農
地の大小、市街化・調整区域を問
わず、権利を取得した日から10か
月以内に農業委員会に届け出なけ
ればならないことになりました。

詳細は、農業委員または農業委
員会事務局にお尋ねください。

武藏村山市農業経営者クラブでは、
武藏村山市内の「農ある風情」を
感じる風景写真を募集しています。
応募規定等の詳細は市ホームページ
をご覧ください。

農ある風情 フォトコンテスト作品募集

【応募締め切り】

平成30年10月26日（金）

産業振興課（内線226）

編集後記

今年は例年になく猛暑が続い
ており農作業には厳しい夏にな
りそうです。体調管理を万全に
この暑い夏を乗り切りましょう。

編集委員

石川 裕一
榎本 英雄
高橋 文雄

内野 晴夫
大口 貴司

伊東 誠司
藤野 政彦

農地の権利取得者の届出